

たん れん しき
奉納刀鍛錬式 <見学無料>

奉納日 / 7月14日~16日
時間 / 10:00・14:00 (各日)
会場 / 二荒山神社中宮祠境内 (特設会場)

昭和31年長野県生まれ。國學院大學史学科を卒業後、人間国宝隅谷正峯師に師事。昭和58年独立。平成7年新作名刀展「無鑑査」の認定を受ける。平成14年、高田宮憲仁親王殿下の3女王、承子さま・典子さま・絢子さまの御護短刀を謹作。平成17年から平成21年にわたり伊勢神宮式年遷宮式御神宝の直刀・鉾を制作。平成21年、22年には宮内庁正倉院事務所の依頼により宝物「黄楊木把鞘刀子」・「小三合刀子」を復元制作。さらに平成22年度新作名刀展において史上7人目、14年ぶりとなる正宗賞を受賞。平成23年3月長野県無形文化財保持者に認定される。今回の奉納刀鍛錬式で鍛え上げられた精鋼は、伊勢神宮の御神宝と同じ2尺4寸の直刀に仕上げられ、平成24年10月25日に執り行われる閉山祭において奉納される。

宮入 法廣 (みやいりのひろ)



交通アクセス

東武・JR日光駅より60分。東武バス「湯元温泉行」二荒山神社前下車、徒歩1分。又は「中禅寺温泉行」終点下車。問い合わせ / Tel.0288-55-0017 二荒山神社中宮祠



重要文化財 無銘

大薙刀 無銘

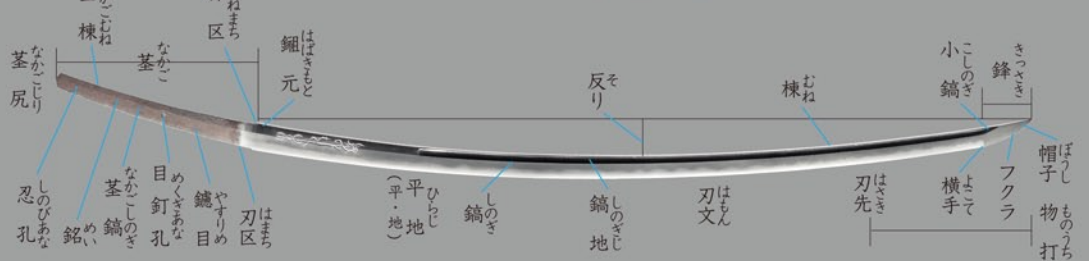


ご挨拶

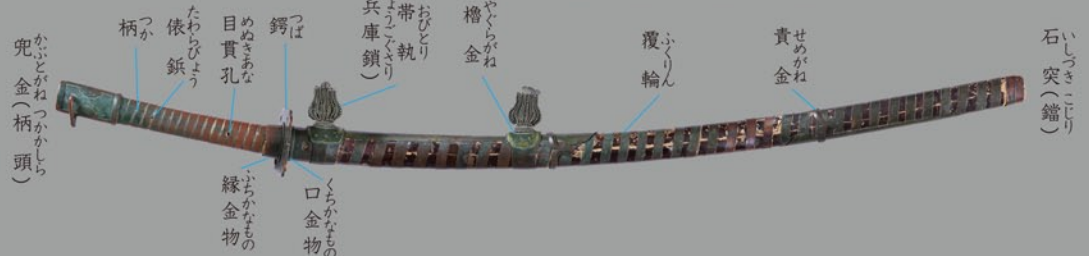
日光二荒山神社宝物館
館長 吉田 健彦

二荒山神社は太古男体山(二荒山)を主峰とし日光八峯を国土鎮護の神々が鎮り坐す霊峰として尊崇され、奈良時代の末天応2年(782)沙門勝道が前人未踏の登頂を果し、二荒神を奉斎してより、今年で1230年の記念の年を迎えました。悠久1230年の歴史を物語る宝物類は多種に亘り、国宝・重文指定の貴重なものが数多く、日本宗教史上稀なる学術資料であるとの評価を受け、これらを収蔵する宝物館が中宮祠の北岳南湖の地に建設されてより本年で開館50周年を迎えることとなりました。殊に全国屈指の刀剣の所蔵は御神徳とその信仰の偉大さを表わし、国宝2口・重要文化財11口・県文10口を数え、大小刀・剣・薙刀等176口に及びます。このたび国宝倫光・来国俊の2口が海外出陳の縁でメトロポリタン美術館の特別顧問小川盛弘氏に依頼して、神社所蔵の国宝・重文・県文指定の刀剣を中心とする宝刀展を開催する運びとなりました。茲に男体山頂鎮座1230年、宝物館開館50周年記念宝刀展が多くの皆様方に感銘を与え、刀剣愛好家の研究の礎となれば幸甚に存ずる次第であります。

刀剣の名称



兵庫鎖太刀拵えの名称



国宝太刀 備州長船倫光

平成24年7月14日(土)~11月4日(日)

会場 / 日光二荒山神社中宮祠 宝物館
入館時間 / 8:30~16:30
入館料 / 大人1,000円・小中生250円
主催 / 日光二荒山神社
tel.0288-55-0017 <http://www.futarasan.jp/>
■ 特別行事 奉納刀鍛錬式 宮入 法廣
奉納日 / 7月14日~16日
時間 / 10:00・14:00



国宝 太刀 来国俊



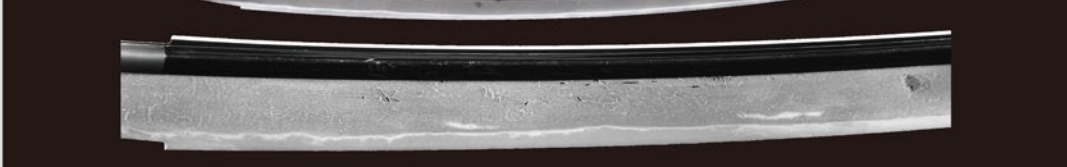
重要文化財 太刀 豊後國行平作



重要文化財 太刀 吉平



重要文化財 大太刀 遠近



重要文化財 大太刀 無銘・祢々切丸

日光二荒山神社宝刀出品目録

No.	指定	種類	銘・名称	総長 (cm)	時代
1.	県文	太刀	銘 行次	103.2	鎌倉時代初期 (12世紀末期)
2.	国宝	大太刀	銘 備前長船倫光 貞治五年二月日	159.0	南北朝時代 貞治五年 (1366)
3.	重文	大太刀	無銘 号 瀬昇太刀	158.2	南北朝時代 (14世紀)
4.	重文	大太刀	無銘 号 祢々切丸	324.1	南北朝時代 (14世紀)
5.	重文	大太刀	無銘 号 柏太刀	189.6	南北朝時代 (14世紀)
6.	県文	大太刀	無銘 号 太郎丸	259.0	南北朝時代 (14世紀)
7.		大太刀	無銘 伝相州正広	170.9	南北朝時代 (14世紀)
8.		大太刀	無銘 伝志津	184.4	南北朝時代 (14世紀)
9.	県文	大太刀	無銘 伝直江志津	193.4	南北朝時代 (14世紀)
10.		大太刀	無銘 伝赤坂千手院	197.3	南北朝時代 (14世紀後期)
11.	重文	大太刀	銘 備州住兼重作	121.6	南北朝時代 (14世紀後期)
12.	県文	大太刀	無銘 伝小反物	129.2	南北朝時代 (14世紀)
13.	重文	大太刀	銘 備州長船康光 応永廿二年二月日	144.3	室町時代初期 (1417年)
14.		大太刀	銘 表 奉納男体権現御宝前 願主理姓坊充傳 裏 寛永十七庚辰天七夕 山城大掾藤原國次作	164.5	江戸時代初期 (1640年)
15.		大難刀	無銘 伝長船兼光・義光	167.4	鎌倉時代末期～南北朝時代 (14世紀)
16.		難刀	無銘 伝法城寺	136.1	南北朝時代 (14世紀)
17.		劍	無銘	95.8	平安時代 (11世紀)
18.	重文	劍	三拮柄劍	85.6	劍=平安時代 (11～12世紀) 三拮柄=鎌倉時代 (13世紀)
19.		劍	無銘	71.3	平安時代 (12世紀)
20.		劍	銘 一	42.7	鎌倉時代 (13世紀)
21.		太刀	無銘 伝豊後國僧定秀・行平	94.4	平安時代末期～鎌倉時代初期 (12世紀末期)
22.	重文	太刀	銘 豊後國行平作	95.3	平安時代末期～鎌倉時代初期 (12世紀末期～13世紀初期)
23.	重文	太刀	無銘 号 抜丸	90.0	鎌倉時代 (13世紀)
24.	県文	太刀	銘 国定	101.5	鎌倉時代後期 (13世紀後期)
25.	国宝	小太刀	銘 来国俊	71.1	鎌倉時代 (14世紀)
26.	重文	太刀	銘 来国光	95.6	鎌倉時代末期～南北朝時代 (14世紀)
27.		太刀	無銘 伝古一文字	100.8	鎌倉時代初期 (13世紀)
28.	重文	太刀	銘 吉平	94.6	鎌倉時代中期 (13世紀)
29.		太刀	銘 吉房	90.9	鎌倉時代 (13世紀)
30.	県文	太刀	銘 景秀	93.3	鎌倉時代中期 (13世紀)
31.	重文	太刀	銘 遠近	100.4	鎌倉時代中期 (13世紀)
32.	県文	太刀	銘 重次	94.9	鎌倉時代後期 (13世紀後期)
33.	県文	刀	銘 肥前國住近江大掾藤原忠廣 承応二年八月吉日	88.9	江戸時代 承応2年 (1653)
34.	県文	刀	銘 河内大掾藤原国定 奥州会津住	106.7	江戸時代初期 (17世紀後期)
35.	重文	拵	金銅鶴文沃懸地太刀拵	94.2	鎌倉時代 建治2年 (1276)
36.	重文	拵	革包黒漆塗鞘 (太刀拵の鞘のみ)	鞘長 83.7	鎌倉時代末期～南北朝時代 (14世紀)
37.	重文	拵	黒漆塗藤巻太刀拵	99.3	南北朝時代 (14世紀)
38.	国宝	拵	黒漆緋巻太刀拵	81.5	鎌倉時代 (14世紀)
39.	重文	拵	山金造波文緋巻太刀拵	337.0	南北朝時代 (14世紀)
40.	重文	拵	黒漆山金緋巻兵庫鎖太刀拵	175	南北朝時代 (14世紀)
41.	重文	拵	黒漆山金緋巻太刀拵	194.8	南北朝時代 (14世紀)
42.	県文	拵	黒漆革緋巻太刀拵	132.9	室町時代 (15世紀)
43.	県文	拵	黒漆革緋巻太刀拵	132.1	室町時代 (15世紀)
44.	国宝	拵	野太刀拵	177.9	南北朝時代 (14世紀)
45.		拵	藤巻竹柄難刀拵	柄長 83.1	南北朝時代 (14世紀)

※重文・・・重要文化財
※県文・・・県指定文化財